

「鹿島市干潟展望館利活用検討に関するサウンディング型市場調査」実施結果概要

「道の駅鹿島」エリア全体を更なるにぎわい創出の場とするため、敷地内にある鹿島市干潟展望館（以下「展望館」という。）の利活用について民間事業者の方々のノウハウなど対話を通じて取り入れ、運営に関する課題、条件等を具体的に整理できるようにサウンディング型市場調査を実施しました。

本調査の実施結果を取りまとめたので、その概要を公表します。

1 実施概要

令和7年5月23日から本調査を実施し、4団体の方々のご協力により展望館の利活用に関する提案書をいただきました。

2 主な提案内容

主な提案内容	
提案 1	【活用案】「自然を感じ、地域を味わい、未来を創る」干潟のまち・鹿島の新多機能拠点
	・ コワーキングスペース（地元企業や個人のテレワーク、研修など）
	・ 展示、学びの場（体験、共感、ストーリー性を加えて）
	・ 観光案内所機能
提案 2	・ ミニカフェ
	【活用案】「干潟分校」をコンセプトとした複合型教育施設
	・ 展望機能を活かした観察・学習スペースの設置
	・ 干潟の干満変化を時間軸で学習できる映像を上映
提案 3	・ 手作り体験コーナー
	・ 既存厨房を活用した地元食材を使った料理体験教室
	【活用案】佐賀県南部地域に景観を重視したワーキングスペースを創設
	・ コワーキングスペース（無料 Wi-Fi 提供）
提案 4	・ 軽飲食の提供（道の駅鹿島の商品）
	【活用案】道の駅活用者の何気ない滞在場所へ
	・ 地域おこし協力隊を活用した地域活性化
	・ 鹿島の地元食材を存分に使った食事を提供

3 今後の予定

ご提案のあった事業内容を参考に、今後の活用事業の実施に向けた検討を行います。